

Nagasaki Ruggerman ー長崎ラグーマンー



ケン・ドブソン
Ken Dobson

オーストラリア出身

私は9歳の少年のころから大好きなスポーツ、ラグビーをしています。だから、昨年7月に日本に来た時も、佐世保のラグビーチーム「ガッチャマンクラブ」を探し出して、入部しました。

夏の暑くて、きつい練習が終わるころ、日本スタイルのラグビーに慣れ、いくつかの試合にも出場しました。そして、10月に開催された全九州クラブ・実業団ラグビーフットボール大会長崎県大会決勝トーナメントへと進みました。私たちのチームは、準決勝で長崎のクラブに勝利し、決勝で諫早のチームと対戦しました。諫早のチームは、私たちよりも体格の良い選手が多くいましたが、私たちはスピードの速さ、技術、知性で戦い、24対0で勝ちました。

私は、チームの勝利に貢献できたことと長崎県内のベスト・チームになれて、とてもうれしかったです。

私たちは宮崎市で行われた全九州クラブ・実業団ラグビーフットボール大会へ進みましたが、残念ながらこのレベルでは勝つことができませんでした。

今年も強いラグビーをプレイし続け、九州大会で勝ちたいと思います。



国際教育・活動支援員

フィオナ・マニング先生の 国際コーナー

〇問合せ先 生涯学習課☎内線 343

Eメール: manning.f@city.matsuura.lg.jp

国際結婚 – 日本人になる？

2010年の厚生労働省人口動態統計年報によれば、結婚総数(婚姻件数)の約4.3%が国際結婚で、そのうち日本人男性と外国人女性の婚姻件数が、日本人女性と外国人男性よりも3倍程度も多くなっています。松浦市でも国際結婚があることをご存知でしょうか？

15年前、オーストラリアで出会った永田美子さんとデーブ・ホールマンさんはオーストラリアで結婚して、現在、2人の子どもと4人で松浦市で暮らしています。

外国人が日本人と結婚したら日本人になる、つまり、日本の国籍がすぐもらえると思っている人が多いと思いますが、実際には外国人が日本に住むための許可にはいろいろな種類があります。

1つは「日本人の配偶者等」というビザです。それは3年間のビザで3年ごと結婚を証明するものを入国管理局に持って行って、更新しないとはいけません。旅行などで、日本から一時的に出国する場合は、別に再入国許可を受ける必要があります。

2つ目の許可は「永住ビザ」です。永住ビザを得るためには日本に最低5年住んだ経験と日本の社会に貢献していることを証明しないともらえません。永住ビザを取得したら、ビザの更新と再入国許可は不要ですが、選挙権はありません。

実は外国人が日本人と結婚しなくても、日本人にはなれます！日本の国籍を申し込む条件は、十分な資格や資金を持っていることと大体10年間日本に住んでいたという実績が必要です。日本語での面接も受けなければなりません。日本では20歳以上の方は1つの国の国籍しか持つことができません。つまり、日本の国籍を選ぶ場合は出身国の国籍をあきらめないといけません。



ひなこ(5)とベンジャミン(3)は日本の国籍とオーストラリアの国籍を両方持っているので、パスポートは2つあります。20歳になったら、どちらかの国籍を選ばないといけません。

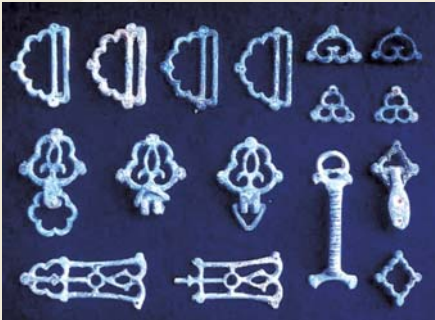
中世の松浦(39) 鷹島海底遺跡

鷹島海底遺跡から出土した青銅製品には、武器・武具の付属品として考えられる金具類と、鈴をはじめとする装飾具、匙などの食器、船舶や船舶の中に設けられた調度品に施されていたと考えられる飾金具、銭貨である銅銭があります。

この中で最も多いものが武器・武具の付属品と考えられる金具類です。大きさは4センチほどのものから10センチにおよぶものもあります。また、同一形状のものが複数認められることからすれば、鑄造製品と考えられます。基本的には3ミリほどの厚さをもった平たい製品と、やや肉厚の丸みをもった製品に二分されます。

平たい製品には、のつぺりとした面と周縁を削り落として装飾品的な加工を施した面が見られます。縁辺部分に小孔を穿つたものが多いことからすれば、加工を施した面が表面であり、縁辺部の小孔にリベット状のものを打ち込んで、ほかの素材に装着されていたと考えられます。やや肉厚の丸みをもった製品は、一定の幅をもったベルトに装着されたと考えられます。これらの金具類は胡(こ)禄(ろく)や刀剣などの武具、あるいはこれを身体に装着するための帯紐・腰帯などに着けられた絞具や留め金・吊り金具と考えられます。

多くの金具に施された文様モチーフは、唐草文様の変形したものです。



▲鷹島歴史民俗資料館で展示している青銅製飾金具



図書館の
おすすめ本

市立図書館
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索

今年は辰年。今月は、「りゅう」が登場する本の紹介です。(児童書 物語編)



『エルマーのぼうけん』
ルース・スタイルス・ガネット/著 福音館書店

雨の日に年老いた猫に出会ったエルマーは、どうぶつ島に捕えられている赤ん坊の竜を助けに行くことに。トラやライオンに食べられそうになったり、サイに襲われそうになったり！エルマーはかわいそうな竜を助けられるでしょうか？



『竜の子ラッキーと音楽師』
ローズマリ・サトクリフ/著 岩波書店

よく晴れた春のある日、旅の音楽師は竜の卵を見つけました。割れかけた卵の応援に子守唄を弾き、出てきた竜の子をラッキーと名づけます。ある秋の日、罾にはまったラッキーと音楽師は離ればなれに…。竜の子と音楽師の友情を描いた心温まる話です。



『龍のすむ家』
クリス・ダレーシー/著 竹書房

「下宿人募集ーただし、子どもとネコと竜が好きな方」奇妙な張り紙を見つけたデービットが行った先は竜の置き物ばかりある一軒家。その家の女主人からノートを持ち鉛筆をくれた竜の置き物、ガスークスをもらいます。ある時、ガスークスを思い浮かべると、ガスークスがノートに何かを書いているのが見えて…。



『ゲド戦記』全6巻
ル=グウィン/著 岩波書店

物語を通して龍が大事な役割を担っている長編ファンタジー「ゲド戦記」。太古の言葉が魔力を発揮する世界を舞台に、魔法使いゲドと各巻で新たに登場する人物との関わりで物語が展開します。苦悩や生死、喜び、戦い、平和などが織り込まれた読み応えある名作。

ほかにも「りゅう」が登場する本をたくさん用意してお待ちしています！